

教科・科目名	家庭・子どもの発達と保育	2 単位	対象	第3学年
教科書	子どもの発達と保育 (実教出版)		担当者	梶原 恵美子
補助教材等	子どもの発達と保育 学習ノート			

1 教科・科目の学習到達目標

乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得する。
子どもの健全な成長に関心を持ち、子どもに関わる意欲や能力、実践的な態度を身につける。

2 キャリア教育の観点からこの教科・科目で身に付ける力

高校生として異年齢との交流体験に関わるだけではなく、将来の家庭生活にいかそうとする意識付けのもと、社会的な視点を持たせる。また、進路選択との関連性から、指導者の観点を踏まえて学びとらせる。

3 学習計画の実際 ※配当時間は授業予定時数です。

◎=強く関連、○=関連

学期	月	配当時間	単 元	内 容	評価の観点 ・方法	主に育成する基礎的 ・汎用的能力			
						A	B	C	D
一 学 期	四 〜 七 月	2 6	子どもの発達の過程	・人間発達の中の乳幼児 ・発達と保育 ・胎児と新生児の発育 ・乳幼児の発育	人間の発達に関心を持ち、乳幼児の発達時期を、理解しているか。 実習レポート 提出物	○	◎		○
			保育所・幼稚園で子どもとふれあう①	・保育実習（保育園、幼稚園 どちらか1回） ・折り紙実習		◎			◎
二 学 期	九 〜 十二 月	2 8	子どもの発達の特性	・乳幼児の精神的発達 ・人間関係の発達 ・発達の個別性と影響要因	生活習慣形成の意義と重要性を理解しているか。 現在の保育をめぐる問題を意識し、保育を学ぶ意義を理解しているか。 実習レポート 提出物	○			
			子どもの生活	・生活習慣の形成 生活習慣の意義 基本的な生活習慣 社会的な生活習慣 ・簡易な教材教具の作成					○
			保育所・幼稚園で子どもとふれあう②	・保育実習（保育園、幼稚園 どちらか1回）		◎			◎
三 学 期	一 〜 三 月	1 6	課題学習	・各自の研究テーマを設定し、学習成果をレポート等にまとめ、発表する。	学習成果のまとめ方、発表内容				

〔A：人間関係形成・社会形成・B：自己理解・管理・C：課題対応・D：キャリアプランニング〕

4 評価の観点・方法

参加点	10%	出席・参加状況
平常点	50%	実習の事前学習および事後のまとめ（レポートの作成）・実習の取り組み等・作品提出
考 査	40%	考査を実施しない場合は、課題提出を求める。評価の割合は考査に準ずる。

5 備考（指導方法等について）

外部と連携した指導計画であることを重視し、日常的にマナー指導を徹底する。